

# 農業



令和2年7月号  
会誌 No. 1666

## 目次

### 巻頭言

「新しい日常」も悪くない……………合瀬 宏毅 3

### 論 壇

聞けなかった農家への感謝の言葉……………田中 耕司 4

### 農業懇話会

AIを活用したスマート農業

－その実現のために必要なことと将来展望－ ……………岩田 洋佳 6

### 地域セミナー 秋田

達人の技術（わざ）は何が違うのか－園芸編－…………… 29

基調講演 …………… 29

秋田県における園芸振興の技術的課題と可能性……………高橋 春實 29

パネルディスカッション…………… 37

### 研究の最前線

超音波で蛾類害虫を防除する……………中野 亮 47

### 農業・農村の現場から

私らしいグリーン・ツーリズムを追い求めて

－山形県鶴岡市「穂波街道緑のイスキア」庄司祐子氏－ ……………澤野 久美 55

**世界の農業は今**

豊富なミャンマーの野菜資源……………入江 憲治 61

**私の経営と志**

農業を通して人生を楽しむ人を増やす……………谷村 岳志 66  
- 田舎を元気に -

**農政情報**…………… 68

大日本農会だより…………… 69

編集部から…………… 69

**ミニ情報**

「令和元年度食料・農業・農村白書」の公表について…………… 46

「最新農業技術・品種2020」の公表について…………… 54

**表紙写真説明**

**鳥取「大栄西瓜」の収穫作業（鳥取県北栄町）**

鳥取県は全国でも有数なスイカの産地です。JA 鳥取中央全体で、年間生産量は約1万4千t、約31億円を売り上げる主要品目のひとつです。

なかでも北栄町で栽培する「大栄西瓜」は、県内一の産地として110年以上の歴史を誇るトップブランド。大玉で皮際まで甘くシャリ感があるのが特徴です。

北栄町は黒ぼくの丘陵地で、肥沃な土壤に保水性と透水性が高くスイカ栽培に適しており、2019年には地理的表示（GI）保護制度に登録されるなど、更なる高みを目指し生産者一丸となって栽培しています。「顔の見える産地づくり」として、生産者自らが消費地に向いて試食販売するなど、消費宣伝活動にも力を入れることで根強い人気を維持しています。

出荷は5月下旬から7月中旬まで続き、鳥取県を代表する夏の味覚として全国へ出荷しています。

（写真及び文：鳥取中央農業協同組合総務部広報課 及川 淑香）